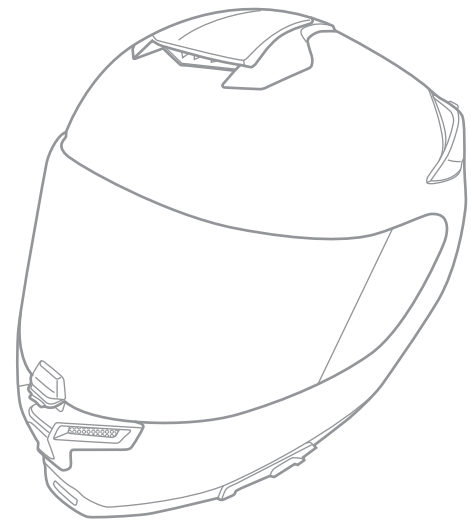




製造元 HJC corp. 23, SEORI-RO, RIDONG-MYUN
CHEON-GU YONGIN-SI, KYUNGKI-DO,
KOREA TEL 82-31-333-5451

販売元 株式会社アルミス 株式会社
〒578-0901 大阪府東大阪市加納6-4-9
TEL 072-874-3268 FAX 072-874-3385
e-mail : taichi@rs-taichi.co.jp



ご使用になる前に必ずお読みください

この度は、H J C ヘルメットをお買い上げ頂き、ありがとうございます。この取扱説明書は H J C ヘルメットの正しい取り扱い方法について説明しております。ご使用になる前に必ずお読み頂き、安全快適なバイクライフをお楽しみください。又、ヘルメットの取り扱いをご存知の方もこのヘルメット独自の装備、取り扱いがございますので、必ずお読みください。またお読みの後は大切に保管しておいて下さい。

REV.00



SGマークは(Safety Goods)安全な製品の略号で製品安全協会が定めたものです。構造、材質、使いみちなどから見て、生命又は身体に対して危害を与える恐れのある製品について、安全な製品として必要な事を決めた認定基準を、製品安全協会が定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。



PSマークのPはProduct(製品)、SはSafety(安全)の略号で国が定めたものです。なお、PSマークの下のCはConsumer(消費者)の略号です。国は、消費生活用製品のうち、一般消費者の生命又は身体に対して特に危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品を「特定製品」として政府で指定し、国で定めた技術上の基準に適合しているかどうかチェックします。合格した製品にはPSCマークの表示がされ、PSCマークを表示していないものはその販売を禁止されています。

乗車用ヘルメットの有効期限は、「購入後3年です」

ヘルメットは使用に伴い劣化、劣化等の経時変化によって新品のと同じ性能を維持できない事もあります。このためSGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年」との有効期限を定めております。有効期限を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れもありますので、充分ご注意ください。又3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損、改造したヘルメットも十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので、充分ご注意ください。

製品安全協会/日本安全組工業会

SGマークのマークの被害者救済制度について

ヘルメットについてのSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり製品安全協会の定める認定基準に適合していないため着用者がケガをした場合など身体的損害について賠償するものです。但しオートバイを特殊な用途(レースサーカス等)に用いている際の負傷や認定基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象になりません。

製品の欠陥により事故がおきた場合は

- 「賠償手続きは以下の通りです」
1. 製品の欠陥による事故がおきたら、すぐ製品安全協会 消費者生活用品 P L センターへ連絡してください。電話番号は03-5808-3303です。
 2. 「事故発生届」又は「賠償措置実施請求書」を提出してください。(原則として事故発生より60日以内)
 3. 事故の状況を伺うとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
 4. 以上の調査結果を検討して、賠償するかどうか決定します。

SGマークについてのお問い合わせ先

〒110-0012 東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ 三ノ輪2階
製品安全協会 消費生活用製品 P L センター
電話番号 03-5808-3303

警告 ヘルメットの保護能力には限度があります。

H J C ヘルメットは国の定める安全基準を十分満たしておりますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全という訳ではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒の際、外部からの衝撃を軽減するものにはすぎません。

警告 必ず守って頂きたい注意事項

- ・使用点検を必ず行ってください
- ・構成部品が正しく取り付けられているか乗車前に点検してからご使用ください。ベンチレーションや内装等の取り付け部品がしっかりと固定されているか? スクリュー等が緩んでいないか? 良く確認してご使用ください。
- ・頭に合ったサイズのヘルメットをお使いください。
- ・大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。又、小さすぎるヘルメットは頭を締め付け痛くなる事があります。首を振ってもズレない頭に合ったサイズのヘルメットをお使いください。

・あご紐をしっかり締めてください。あご紐を締めなかつたり、ゆるい締めかたでは走行中にズレたり、万一転倒した時に脱げてしまい、頭を守る事ができません。

- ・走行中にエアインテークのシャッターを操作しないでください。走行中のシャッター操作は、オートバイの操縦に支障をきたす原因となり危険です。操作は、必ず停止した状態で行ってください。
- ・汚れや傷のついたシールドで走行しないでください。走行中、視野の妨げになりますので、汚れたシールドは走行前に汚れを落とし傷の付いたシールドは新しい補修部品に交換してください。
- ・走行中の環境変化に対する注意。

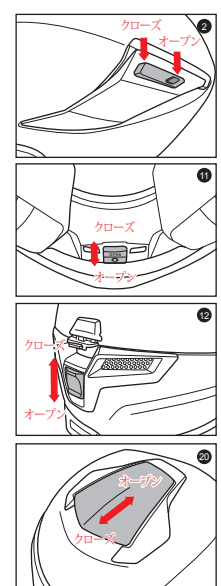
突然の雨や急激な温度変化によってシールドが曇る場合があります。このような状況が予測される時は、走行前にシールドの曇りを調整し、通常よりスピードをおさえて走行してください。

- ・大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上損傷がなくてもご使用しないでください。ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが潰れる事で衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けた後は既にライナーが潰れている場合が多く、これではイザという時、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。
- ・改造は絶対しないでください。ヘルメットに穴をあけたり、削ったりする事は、性能を損ない非常に危険です。また、着脱可能な部品を取り外したままの走事も大変危険です。

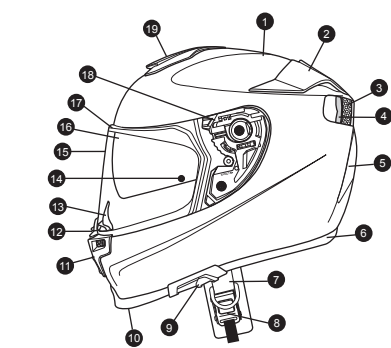
ヘルメット及びシールドのお手入れには薄めた中性洗剤をご使用ください。熱湯(50度C以上)や塩水、ベンジン、シンナー、ガソリン等を使用しますと本体及びシールドに悪影響を与えますので、絶対に使用しないでください。汚れは中性洗剤を薄めて柔らかい布で拭き取る様にしてください。

ヘルメットに塗料、接着剤、ワックス、その他何なる溶剤もつけないでください。溶剤によりシェル及び衝撃吸収ライナーが侵され衝撃吸収力が著しく低下します。

ヘルメットを持ち運ぶ時の注意。ヘルメットは必ず本体又はあご紐を持って取り扱ってください。内装やシールドをつかんで持ち運ぶとヘルメットを落とす恐れがあります。又ヘルメットをオートバイのホルダーに付けたままの走行はおやめください。ヘルメットに傷を付けるばかりか、オートバイの操縦に支障をきたすことがあり大変危険です。



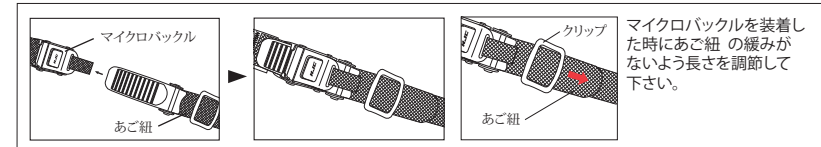
各部の名称



1. シェル
2. リアエアスポイラー
3. EPS(衝撃吸収ライナー)
4. インナーライナー
5. サイドエアアウトレット
6. ボトムガスケット
7. チンストラップ(あご紐)
8. マイクロバックル
9. サンバイザーレバー
10. インテークシャッター(内側)
11. ロアベンチレーション
12. シールドロック
13. プレスガード
14. アンチフォグレンズ 取付用ピン
15. シールド
16. サンバイザー
17. アイボルトガスケット
18. キアプレート
19. トップベンチレーション

あご紐の締め方

警告 あご紐が下の図の様に正しく装着できているか、しっかりと緩みなく締められているか、必ず確認して下さい。あご紐がたるんでいる様であれば、締め直して下さい。確実にあご紐が締められていないと、万一転倒した際にあご紐が外れてしまい、重大な後遺症が残ったり、最悪の場合死亡に至ることもあります。

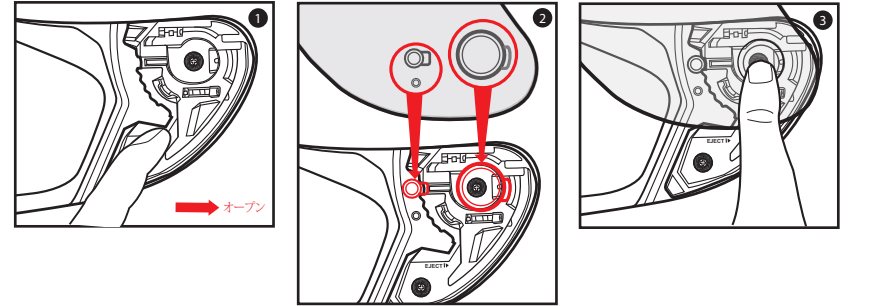


シールドの取り外し

1. スライドロックを矢印の方向へ動かします。
2. シールドロックのタブを持ち上げてロックを外します。
3. シールドを全開にしてください。
4. ハンドルロッカーを矢印の方へスライドさせて下さい。シールドがキアプレートから外れます。

シールドの取り付け

1. ハンドルロッカーがオープンになっていることを確認してください。
2. シールド内側の突起部分を図2の様に合わせ、挿入してください。
3. カチッと音がして、シールドが固定されます。



警告 ヘルメットを使う前に、パッドが正しい位置にあるかを必ず確認してください。パッドが適切に取付されていないと、事故発生の際、深刻な負傷や死亡の危険が高くなる恐れがあります。

チークパッドの取り外し

1. チークパッドはスナップボタンとプラスチック板で固定されています。
1. チークパッド内側の3つのスナップボタンをやさしく外して下さい。
2. チークパッドを図2の様に引いて取り外して下さい。

チークパッドの取り付け

1. チークパッドの切欠き部分にあご紐を通します。
2. プラスチック板をシェルとEPSの間のスキマに入れます。
3. スナップボタンを取り付けます。

インナーライナーの取り外し

1. 前側の四カ所のツメを持ち上げながら一つずつ外していきませう。
2. 後方の二つのスナップボタンを外して下さい。

インナーライナーの取り付け

1. インナーライナーの枠を四カ所のツメの下に挿し込み取り付けます。
2. 後方の二つのスナップボタンを取り付けます。

チンストラップカバーの取り外し

1. あごひも付け根のベルクロを浮かせてから、チンストラップカバーの端をつかんで引っ張ります。

チンストラップカバーの取り付け

1. チンストラップカバーをあごひもに通し、奥まで挿し込んで内側のベルクロで固定します。

警告

- オートバイの運転中にサンバイザーを操作しないでください
- サンバイザーを操作する時は必ずサンバイザーレバーを使って下さい。
- 夜間はサンバイザーを使用しないでください。また、サンバイザーは目を保護するものではありません。シールドを閉めた状態で使用下さい。

サンバイザーの操作方法

- レバーを前へスライドさせるとサンバイザーが収納されます
- レバーを後へスライドさせるとサンバイザーが出来ます

プレスガードの取り外し

1. プレスガードをつかみ、矢印の方向へ引き抜いてください。

プレスガードの取り付け

1. 図の様にプレスガードを差し込んで下さい。

チンカーテン用パッドの取り付け

- 付属のパッドをチンカーテン内側に取り付けすることで、首元からの風の巻き込みを軽減することができます。